

監視付き変換ソフト

KDauto_trans標準版 for SharePoint



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

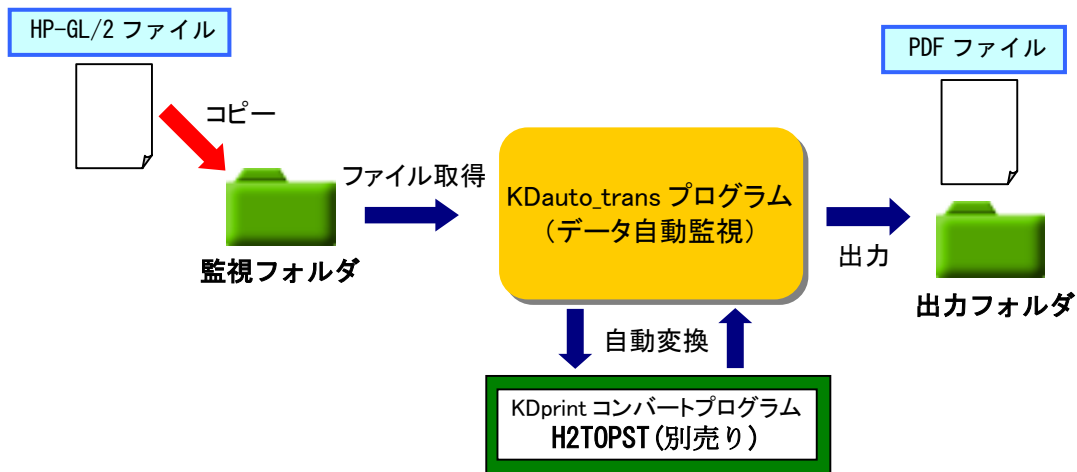
【概要】

KDauto_trans 標準版 for SharePoint は KDauto_trans 標準版の機能に SharePoint と WebDAV への出力を追加した製品になります。

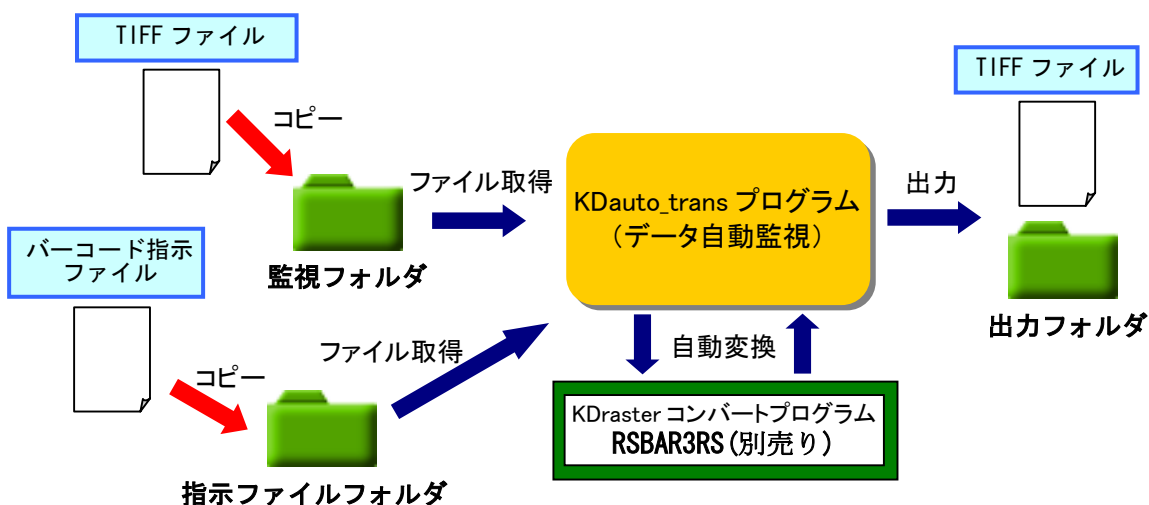
変換により作成されたファイルは Windows 配下のフォルダへ出力か SharePoint 上のドキュメントライブラリへ出力か WebDAV サーバー上のフォルダへ出力かを選択することができます。

※本製品のみ販売は行っておりませんので、別途、データ変換プログラム(別売)が必要となります。

例 1：KDprint コンバート [H2TOPST] を使用して HP-GL/2 ファイルを PDF ファイルへ変換後、出力します。



例 2：KDraster コンバート [RSBAR3RS] を使用して TIFF ファイルへバーコードを貼り付けて出力します。



※ 1：バーコード指示ファイルの内容は弊社指定のフォーマットとなります。

※ 2：処理する TIFF ファイルと同名のファイルを指示ファイルフォルダからバーコード指示ファイルとして取得します。(拡張子は任意に指定)

※ 3：バーコード指示ファイルが見つからない場合はバーコードの貼り付けは行いません。

【特長】

1. 監視ディレクトリを最大 200 個まで指定できます。
監視ディレクトリ内のファイルは日付の古い順かファイル名の昇順でピックアップされます。
2. 監視ディレクトリはローカルフォルダと共有フォルダのどちらでも指定することが可能です。
共有フォルダは読み書きが許可されている必要があります。
3. 監視ディレクトリ毎に監視開始時間、監視終了時間、監視有効、監視無効の設定が可能です。
監視ディレクトリの監視有効、監視無効の設定は KDauto_trans 実行中でも変更することが可能です。(実行中に監視無効に変更した場合は、変更前にピックアップされていたファイルについては変換処理を行います)
4. 監視ディレクトリ以下のディレクトリにあるファイル进行处理することが可能です。処理されたファイルは指定された出力先に、監視ディレクトリ以下のディレクトリ構成と同じディレクトリ構成を作成してそこに出力します。
5. 監視ディレクトリ毎に任意の出力先を指定することが可能です。
6. 出力先は Windows 配下のフォルダ (ローカルフォルダと共有フォルダのどちらでも可) か SharePoint 上のドキュメントライブラリか WebDAV サーバー上のフォルダかを指定することが可能です。
共有フォルダは読み書きが許可されている必要があります。
SharePoint と WebDAV はログインするためのユーザー名とパスワードが必要となります。
7. 処理後の出力ファイル名を指定することができます。監視ディレクトリにコピーされたファイルと同名+指定拡張子、監視ディレクトリにコピーされたファイルと同名+日付+指定拡張子、日付+指定拡張子の 3 種類から選択できます。
8. 変換処理の履歴を保存しておく履歴ファイルの生成が出来ます。実行時間や変換結果などの履歴情報の確認ができます。XML フォーマットの履歴ファイルを作成することもできます。
9. 変換処理の内容をメールで送信することも可能です。変換処理が NG の時にのみメールを送信したり、常に結果をメール送信したりすることができます。変換処理が NG の場合は変換元ファイルをメールに添付することができます。
10. 処理後の出力ファイルを印刷することが可能です。プリンタドライバ経由 (データ変換は行わない) で印刷します。
処理後の出力ファイルが出力先プリンタで出力可能なフォーマットになっている必要があります。
弊社の印刷関連製品を使用して印刷することも可能です (例えば KDprintout for driver など。印刷関連製品を組み合わせて可能かどうかは弊社までお問い合わせ下さい (別売))。
弊社以外の印刷関連製品を使用して印刷することも可能です (例えば lpr.exe など)。使用できる印刷プログラムはコマンドプロンプト上からコマンドラインで実行可能なこと、コマンドラインの形式が「出力プログラム名 オプション 出力ファイル名」であることが条件となります。画面操作が必要なプログラムは使用できません。
11. 弊社の KD コンバートシリーズ (別売) を使用してデータ変換を自動処理することが可能です。殆どの KD コンバートシリーズが組み合わせ可能ですが、組み合わせることが出来ないものもあります。
(購入を考えている KD コンバートシリーズまたは購入済みの KD コンバートシリーズが組み合わせ可能かどうかは弊社までお問い合わせ下さい)
12. 弊社の KD コンバートシリーズ (別売) を使用して複数のフォーマットからなるファイルを特定のフォーマットのファイルに纏めて出力することができます。
(購入を考えている KD コンバートシリーズまたは購入済みの KD コンバートシリーズが組み合わせ可能かどうかは弊社までお問い合わせ下さい)
13. 弊社の KD コンバートシリーズ (別売) を使用して対になる 2 つの新旧ファイルを比較して比較結果を出力することが可能です。
比較可能 KD コンバートシリーズは HPMGHP、PDFMGPDF、XDWMGXDW です。
14. 弊社の KD コンバートシリーズ (別売) を使用して複数の図面サイズのファイルを指定図面サイズにレイアウトして出力することが可能です。レイアウト可能 KD コンバートシリーズは HPLAYHP、RSCMP3RS です。
15. 弊社の KD コンバートシリーズ (別売) を使用して大判サイズのデータを定型または任意のサイズに分割することが可能です。分割可能 KD コンバートシリーズは RSDV3RS、RSDV4RS、RSDV3PST です。
16. 弊社の KD コンバートシリーズ (別売) を使用して変換元データの情報を変換と同時に出力することが可能です。
情報出力可能 KD コンバートシリーズはラスター変換プログラム (RS**)、DICOM 変換プログラム (DCM**) です。
ラスター変換プログラムでは Exif 情報を、DICOM 変換プログラムではタグ情報を出力します。変換元データにこれらの情報が無い場合は変換エラーとなります。
17. 弊社の KD コンバートシリーズ (別売) で使用する設定ファイルを変換ファイルに合わせて自動的に選択して変換することが可能です。変換前に任意に指定したディレクトリに、変換ファイルと同名の設定ファイル (拡張子は任意) を作成しておく必要があります。設定ファイルが存在しない場合は変換エラーとなります。
18. 監視ディレクトリにフォーマットの違うファイルがあってもフォーマットを自動認識することができます。
フォーマット認識はファイルの拡張子で行います。拡張子はフォーマット毎に最大 8 個まで指定できます。
フォーマット毎に使用するデータ変換プログラムと出力先のディレクトリを指定することができます。
19. フォーマットの自動認識 (18.) を行う場合に、指定外の拡張子を持つファイルをエラーにするか無視するかを選択できます。無視にした場合は、そのファイルは監視ディレクトリから削除されません。
20. KDauto_trans 標準版 for SharePoint の環境設定は GUI 画面から設定を行います。

【機能一覧】

KDauto_trans 標準版 for SharePoint の機能一覧です。

| 機能 | OS |
|----------------------|---------|
| | Windows |
| 監視ディレクトリ最大数 | 200 個 |
| SharePoint/WebDAV 出力 | ○ |
| 監視ディレクトリの開始終了 | ○ |
| 監視ディレクトリの有効無効 | ○ |
| 階層処理 | ○ |
| 出力ファイル名(※1) | ○ |
| 履歴の作成 | ○ |
| メール送信 | ○ |
| プリントマネージャで印刷(※2) | ○ |
| 任意プログラムで印刷(※3) | ○ |
| KD コンバートシリーズで変換(※3) | ○ |
| 複数ファイル処理(※3) | ○ |
| 比較処理(※4) | ○ |
| レイアウト処理(※5) | ○ |
| 分割処理(※6) | ○ |
| ファイル情報出力(※7) | ○ |
| FTP 転送 | ○ |
| 環境設定を GUI で行う | ○ |

※1：監視ディレクトリにコピーされたファイル名+指定拡張子、監視ディレクトリにコピーされたファイル名+日付+指定拡張子、日付+指定拡張子の3種類が指定できます。

※2：KD コンバートシリーズの変換処理で出力するプリンタが印刷可能なフォーマットに変換する必要があります。

※3：別途 KD コンバートシリーズを購入する必要があります。

※4：HP-GL 同士、HP-GL/2 同士、PDF 同士、DocuWorks 同士のファイルが比較可能です。

別途 HPMGHP (HP-GL 同士、HP-GL/2 同士)、PDFMGPDF (PDF 同士)、XDWMGXDW (DocuWorks 同士) を購入する必要があります。

※5：HP-GL、HP-GL/2、ラスターファイルがレイアウト可能です。

別途 HPLAYHP (HP-GL、HP-GL/2)、RSCMP3RS (ラスター) を購入する必要があります。

※6：ラスターファイルが分割可能です。

別途 RSDV3RS、RSDV4RS、RSDV3PST を購入する必要があります。

※7：ラスター、DICOM ファイルが可能です。

別途ラスター変換プログラム (RS**)、DICOM 変換プログラム (DCM**) を購入する必要があります。

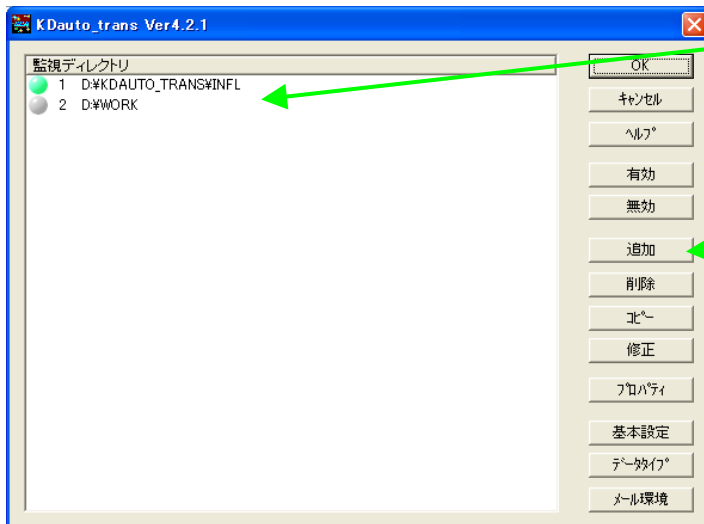
【環境設定】

KDauto_trans 標準版 for SharePoint の動作環境の設定は GUI 画面から行います。

(環境設定ファイルを直接編集することが可能ですが、設定内容の入力ミスを少なくするためにも極力 GUI 画面から設定を行って下さい)

・ 環境設定

KDauto_trans 標準版 for SharePoint のインストールフォルダにある「ParaSet.exe」を実行します。

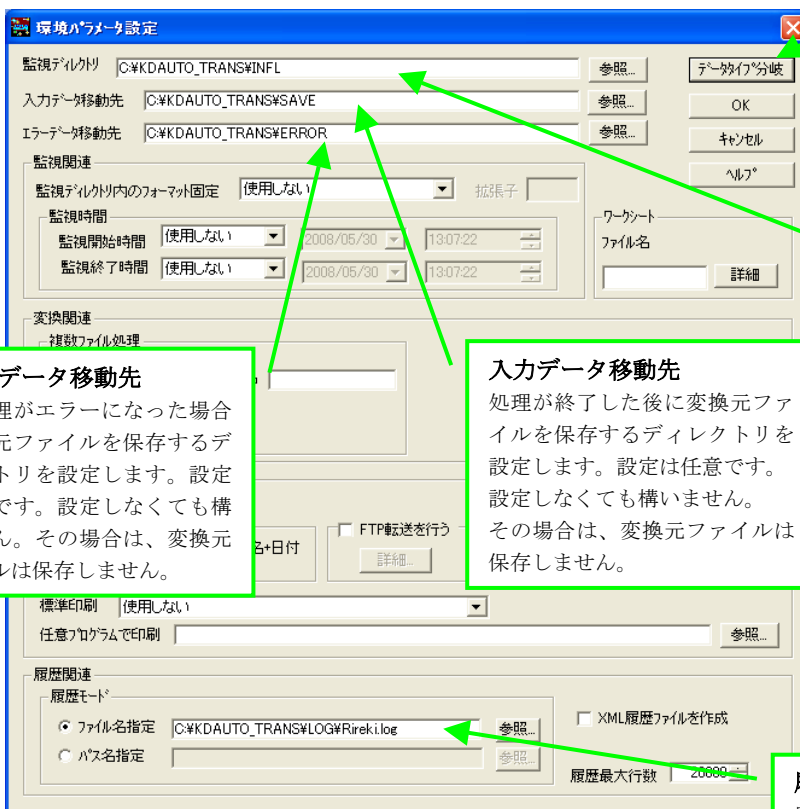


監視ディレクトリ一覧

監視ディレクトリの一覧が表示されます。監視ディレクトリの有効・無効、監視ディレクトリ番号、監視ディレクトリ名の順番で表示されます。

追加ボタン

新規に設定を追加する。クリックすると「環境パラメータ設定」ダイアログが表示されます。



データタイプ分岐

変換プログラムや出力ディレクトリを設定します。クリックすると「データタイプパラメータ設定」ダイアログが表示されます。

監視ディレクトリ

変換元ファイルがコピーされるディレクトリを設定します。処理終了後、変換元ファイルは削除されます。

エラーデータ移動先

変換処理がエラーになった場合に、変換元ファイルを保存するディレクトリを設定します。設定は任意です。設定しなくても構いません。その場合は、変換元ファイルは保存しません。

入力データ移動先

処理が終了した後に、変換元ファイルを保存するディレクトリを設定します。設定は任意です。設定しなくても構いません。その場合は、変換元ファイルは保存しません。

履歴モード

履歴ファイルを作成して処理の結果を記述します。設定は任意です。設定しなくても構いません。その場合は、履歴ファイルを作成しません。

データタイプパラメータ設定

データタイプ番号: 0 データフォーマット名称: [設定]

[OK] [キャンセル] [ヘルプ]

出力関連

出力タイプ: フォルダ出力 [追加の設定]

ユーザー名: [フィールド設定]

パスワード: [フィールド設定]

出力先: C:\KDauto_trans\outfl [参照...]

出力拡張子: tif [参照...]

変換関連

前処理: [参照...]

KDコンバート: C:\h23rs\h23rs.exe -AG -U"C:\h23rs\h23rs2_ [参照...]

後処理: [参照...]

ラスター分割処理

情報ファイル出力

シカドページ番号の区切りが[-](ハイフン)

指示ファイルの使用

オプション: [参照...]

格納ディレクトリ: [参照...]

拡張子: [参照...]

出力タイプ

出力先の出力タイプを選択します。
SharePoint 出力または WebDAV 出力
を選択した場合はユーザー名、パス
ワード、プロキシ設定、フィールド
設定が設定可能になります。
※WebDAV 出力はフィールド設定を行
えません。

出力先

出力タイプで選択された形式で変換
結果ファイルを出力する出力先を設
定します。

出力拡張子

変換結果ファイルの拡張子を
設定します。

KD コンバート

変換を行う KD コンバートシリーズの
コマンドラインを設定します。
KD コンバートシリーズの実行 EXE
を最初に設定し、その後に変換オ
プションを設定します。
KD コンバートシリーズには変換設
定方法を記述した入力属性ファイ
ルと出力属性ファイルがあります
ので、必ず[-U]と[-Z]オプション
で設定します。その他の変換オプ
ションをその後に続けます。変換
オプションの内容は使用する KD
コンバートによって異なります
ので、詳しくは KD コンバートの
説明を参照して下さい。

【注意する点】

- ・ SharePoint への出力を行う場合、以下の製品で動作確認が取れています。
 - Windows SharePoint Services 3.0
 - Microsoft Office SharePoint Server 2007
- ・ WebDAV サーバへ出力を行う場合、以下の製品で動作確認が取れています。
 - IIS 6.0 または 7.0
 - Apache 2.0
- ・ KDauto_trans 標準版 for SharePoint のみではファイルの変換処理は行いません。別途 KD コンバートシリーズを購入する必要があります。(例えば HP-GL2/Raster (H22RS, H23RS), Raster/Raster (RS3RS) など)
- ・ DTP ファイル (WORD, EXCEL, PDF など) を変換するように設定している場合は下記の制限が発生します。

Windows の OS を長時間 (数ヶ月単位) 再起動せずに使用すると環境により Windows の動作が不安定になる場合があります。これは、弊社アプリケーションのみの問題ではなく、Windows を含む、利用される全てのソフト・ドライバの複合要因であり発生した場合、原因の特定及び回避は全てのアプリケーションが関係している関係で、現状では不可能です。

長期間連続運用を行う場合、上記の問題が発生する事がありますので定期的な Windows の再起動を奨励いたします。
- ・ KDraster コンバート, KDprint コンバート等を使用して変換する場合、一部のオプションは使用できなくなります。使用できなくなるオプションはファイルをまとめて処理するようなオプションで、-BATCH, -MERGE 等です。

【自動起動】

1. スタートアップに登録することでログイン後に自動起動することができます。
2. サービスに登録することでマシン起動後、ログオフ状態で自動起動することができます。
(DTP ファイル (WORD, EXCEL, PDF など) を変換するような場合には使用できません)
3. サービス登録以外の方法でログオフ状態の自動起動には対応していません。

【対応マシン】

- ・ Windows2000, WindowsXP, Windows Server 2003

【価格】

KDauto_trans (標準版) for SharePoint : 25 万円 (税抜き)

※ 本製品のみ販売は行っておりませんので、KDraster コンバート、Kdcad コンバート、KDprint コンバート、KDprintout for driver 等の変換を行う製品の別途購入が必要となります。